

豊田市民芸の森 市民文化講座

せいすいだんぎ

青佳談義 (第11回)

「本多静雄氏の夢 猿投古窯・黒い壺・狛犬・・・日本陶磁公苑構想」

「青佳談義」は、本多静雄氏のゆかりの方々や地域の方から話を聞き、氏の功績や人柄、エピソードを後世に伝えていくとともに地域に埋もれた歴史を再発見するものです。

日時：令和5年2月25日(土) 午後2時～3時30分

講師：仲野泰裕氏 (元愛知県陶磁美術館 副館長)

内容：猿投古窯の発見者である古陶磁研究家・本多静雄氏が描いた狭義の博物館を超える、陶磁に関する総合文化施設建設の夢とは。昭和49年から愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）設立に学芸員として従事された仲野泰裕氏からお話を伺います。

会場：平戸橋いこいの広場 1階 多目的室（豊田市平戸橋町波岩10番地）

定員：先着30名

参加費：無料

事前申込みはありませんので、当日会場までお越しください。

仲野泰裕氏 プロフィール



1974年4月陶磁資料館建設担当学芸員として愛知県商工部工業振興課に勤務。オイルショックの洗礼を受けながら、南館（昭和53年）本館の一部（同54年）など諸施設の拡充を重ね、平成6年（1994）当初計画に近い形で本館棟の増築オープン。引き続き教育普及活動、にぎわい創出などに取り組む。

平成20年（2008）4月 陶磁資料館副館長

開館35周年を契機に名称変更に取り組む。

平成25年（2013）6月 開館35周年記念展。愛知県陶磁美術館に改称。

平成26年（2014）3月 退職。

平成29年まで愛知県立芸術大学・名古屋造形大学など非常勤講師

専門分野：近世・近代陶磁史

本多静雄氏 (1898-1999)

古陶磁研究家・科学技術者・実業家。豊田市名誉市民。

日本で初めて施釉陶器を焼成した猿投窯の発見者。

愛知県陶磁資料館・豊田市民芸館の設立に貢献。

※「青佳」とは、本多静雄氏が名の「静」の偏・「青」と「雄」の旁・「佳」をとって雅号として使用していたものです。



《問合せ先》

豊田市民芸の森 〒470-0331 豊田市平戸橋町石平 60-1

Tel.0565-46-0001 Fax.0565-46-0043 Eメール mingeinomori@city.toyota.aichi.jp

共催 NPO 法人 民芸の森倶楽部